

平成 30 年度小規模多機能型居宅介護まつば事業計画

1. 基本理念

「利用者本位のサービス提供」を基本として、可能な限り住み慣れた自宅または地域の中で継続した生活を送ることができるよう支援します。

2. 基本方針

要介護（要支援）となった利用者が通いサービスを基本として、本人や家族の希望や状況に応じて「宿泊」「訪問」といったサービスを組み合わせながら、必要な支援をしていきます。

(1) 「通い」「訪問」「宿泊」どのサービスを利用しても、いつも顔なじみの職員が対応します。

(2) 介護度が中重度になっても住み慣れた自宅での生活が可能です。

3. 重点目標

(1) 在宅生活継続への支援

①在宅利用者の自宅での生活を知る

まつばで直接関わっていない時間帯にどのような生活を送っているのか。また地域や近所との関わりがどの程度あるのか など本人をとりまく関係性を把握し、地域との関わりを断ち切ることなく暮らし続けていけるよう支援していく。

②訪問の強化

特に独居世帯や高齢夫婦世帯に対する訪問を強化し、生活状況を把握するとともに、必要な支援があれば繋げていけるように支援していく。

③家族への支援

家族と同居している利用者に対しては家族から近況や困っていることなどを聞き取りして、新たな支援が必要であれば繋げていけるようにする。また独居の利用者に対しては近況などを定期的に家族に報告するなどし、関わりを持っていけるようにする。

(2) カンファレンスの充実

会議でのカンファレンスの充実を図り、利用者の状況を適宜把握できるようにする。また利用者 1 人 1 人の支援内容が適切かどうか、その都度話し合いを行い、新たな支援が必要であれば対応できるようにしていく。

4. 職員の資質向上

事業所内・外での研修会への参加をとおして実践に役立てていく。

法人研修について研修への参加

	内 容	主 催 者	参 加 者
年 8 回	看取りについて	法人主催研修	法人全職員
	認知症について		法人全職員
	リスクマネジメント・法令順守		法人全職員
	身体拘束・虐待		法人全職員
	法人内実践発表		法人全職員
	感染症対策		法人全職員
	ハラスメント		法人全職員
	救急救命講習		法人全職員
毎月	事業所内勉強会	職員	こまくさ職員
	基礎介護 50 より		

外部研修について

実施月	内 容	参加者
年 2 回程度	十勝小規模多機能事業者連絡会 研修	まっば職員

5. ケアプランの充実

利用者の変化を随時記録し、状況に変化があった場合はカンファレンスを行いプランに繋げていく。また利用者・家族の意見も反映して行く。

6. 地域交流

- ① 行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など各関係機関との連携を図りながら、利用者の在宅生活継続のための支援を行います。
- ② 民生委員や地域住民の協力を得ながら、地域の中で利用者が住み続けられるよう支援していきます。

7. 運営推進会議

- ①地域に開かれた事業所にするために運営推進会議において、サービスの提供状況や地域における現状や課題について定期的に話し合いや意見交換を行い、事業所の運営に反映させていきます。

②運営推進会議の開催（年 6 回 実施予定）

実施月	内 容	担 当
5 月	平成 29 年度各事業所事業報告	千葉主任生活相談員
6 月	行方不明搜索模擬訓練	萱森管理者
8 月	夏祭り	馬場管理者
10 月	実践発表	千葉主任生活相談員
11 月	年忘れ会	萱森管理者
3 月	各事業所平成 31 年度事業概要	馬場管理者